

名古屋城は、徳川家康が築いた究極の城

静岡大学名誉教授・文学博士
小和田 哲男

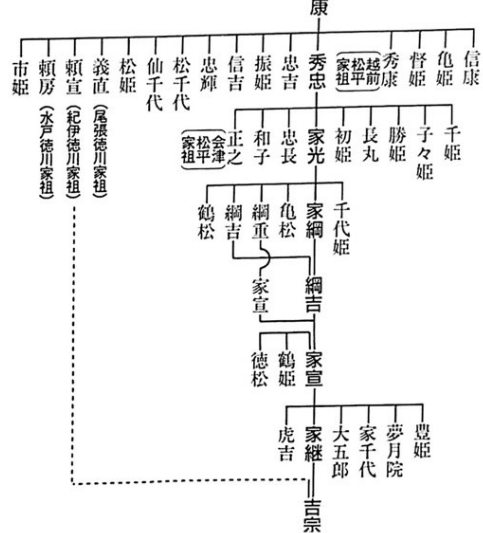
はじめに

1. 関ヶ原戦後の家康と尾張 清洲城主 福島正則の転封

家康 4男 松平忠吉の清洲入城（52万石）

忠吉の死と義直の入封

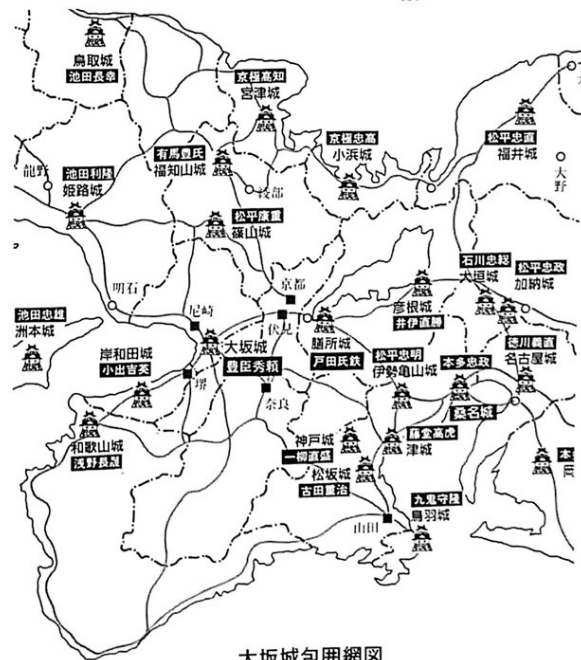
徳川家康略系図（8代まで）



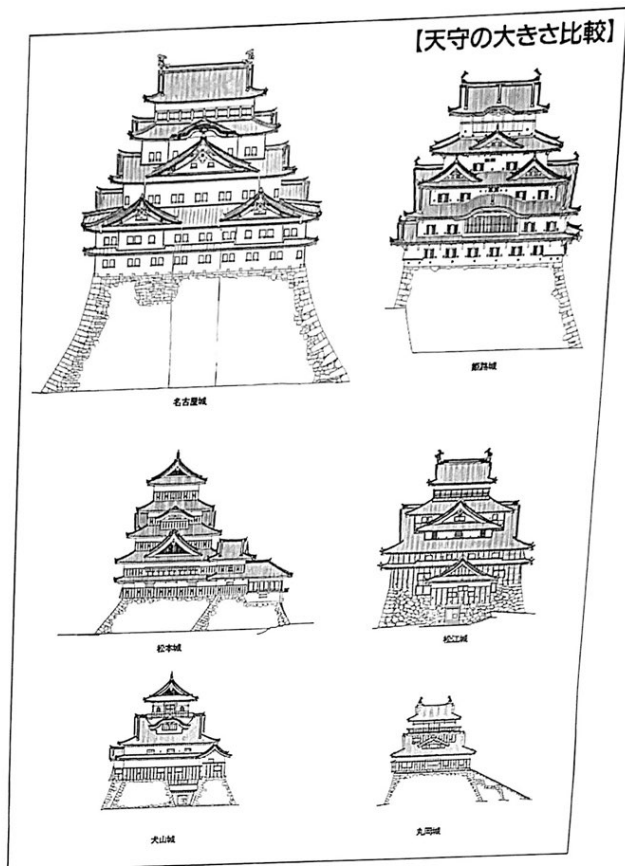
2. 清洲城から名古屋城への移転 義直を清洲城から名古屋城に移す

家康のねらい 1 対豊臣方戦略

家康のねらい 2 最悪の事態を想定



家康のねらい 3 徳川の威信を誇示



3. 天下普請の名古屋築城
普請奉行と作事奉行

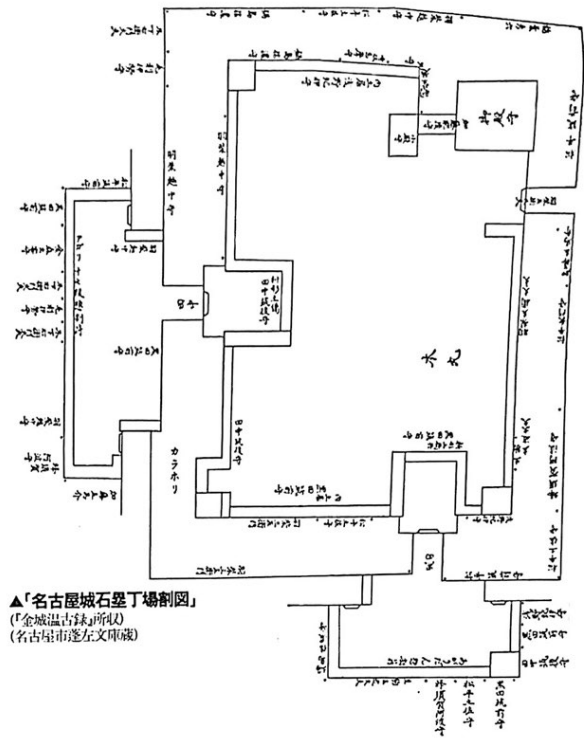
慶長 15 年 (1610) 閏 2 月から工事がはじまる

助役を命じられた大名たち

名古屋城助役大名一覧			
氏名	家格	領地	領地高 万石
黒田長政	外様	筑前福岡	52.3 秀吉の参謀・黒田如水の嫡子
細川忠興	外様	豊前	39.8 信長・秀吉に属していた大名
田中忠政	外様	筑後	32.5 秀吉の子飼い大名
毛利高政	外様	豊後佐伯	2.0 信長・秀吉の元家臣
竹中重利	外様	豊後高田	2.0 秀吉の元家臣
稲葉典通	外様	豊後白杵	5.0 信長・秀吉の元家臣
木下延俊	外様	豊後日出	3.0 秀吉の妻・北の政所の子・木下家定の嫡子
鍋島勝茂	外様	肥前	35.7 秀吉に属していた大名
寺沢広高	外様	肥前	12.0 秀吉の子飼い大名
加藤清正	外様	肥後熊本	52.0 秀吉の子飼い大名
加藤嘉明	外様	伊予	20.0 秀吉の子飼い大名
蜂須賀至鈿	外様	阿波	18.8 秀吉の殿様・蜂須賀正勝の嫡子
山内忠義	外様	土佐高知	20.3 秀吉の子飼い大名の嫡子
生駒正敏	外様	讃岐	17.1 豊臣政権の中老・生駒親正の嫡子
毛利秀就	外様	長門周防	36.9 秀吉に属していた大名
前田利常	外様	加賀能登越中	119.2 秀吉の殿様・前田利家の子
金森可重	外様	飛騨高山	3.8 信長・秀吉の元家臣
池田輝政	外様	播磨姫路	52.0 信長・秀吉に属していた大名
福島政則	外様	安芸備後	49.8 秀吉の子飼い大名
浅野幸長	外様	紀伊	37.6 秀吉の一門衆・浅野長政の嫡子

領地高欄の説明は各大名と豊臣家との関わりを示す。

錯綜していた丁場割



▲「名古屋城石壁丁場割図」
〔『金城温古録』所収〕
〔名古屋市長左文庫蔵〕

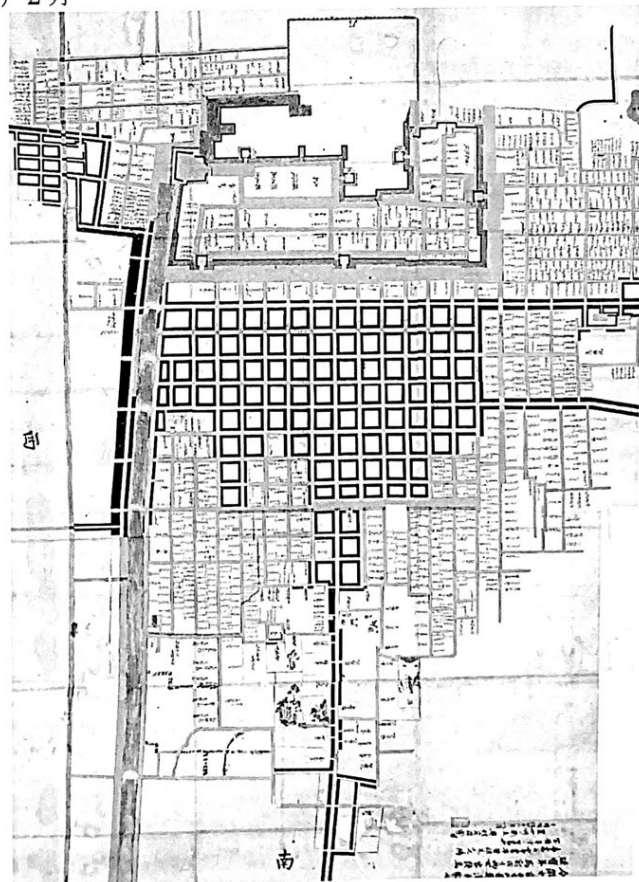
4. 義直の入城と城下町づくり

本丸御殿の完成は元和元年（1615）2月

清洲城の廃城 城下町の移転
「清洲越し」

総構築造計画とその中止

61万9500石の城下町として発展



「万治年間名古屋城図」
〔名古屋城協会蔵〕

6点の図の出典は全て「歴史群像」名城シリーズ④名古屋城

おわりに